

家は3度建てないと満足しない！？ 他人の失敗から学ぶ解決塾

思っていたよりリビングが狭かった

現場見学会に積極的に参加しましょう！展示場で最高級の広い家を見ているとわかっていても3割り増しで完成をイメージしてしまいます。より多くの一般家庭の注文住宅を見学することでイメージはより現実に近くなり、満足のいく新築が完成しましょう。

現場見学会へ行こう！

リビングに大きな吹き抜けをつけたら寒い・音も響く

高気密・高断熱の住宅では家中の温度差が少ないので大きな吹き抜けもシーリングファン1つで楽しむことができます。音が気になる方は家族のあつまるリビングではなく、玄関に吹き抜けを設けてみてはいかがでしょうか？暗く・狭くなりがちな玄関も吹き抜けを設けることで明るく・広くなり、訪問者の方からの印象もいいですよ。

高気密・高断熱住宅で解決！

リビングの掃き出し窓のところにガーデンルーフを設置する際、紫外線カット効果の高いものにしたが、光を遮りすぎてリビングが暗くなってしまった

シミュレーション不足・・・

『どうせ付けるなら良い物を』と、カタログの性能を見て高性能の物を選んででも設置場所や方位、生活スタイルによっては向き・不向きがありますので、しっかりシミュレーションしましょう。欲張って過剰設備にならないよう気を付けましょう！

アイランドキッチンにしたために吊り戸棚がなく、収納が足りない・・・

お部屋の収納はきちんと考えている方が多いのですが、以外と足りないのは家族収納。パントリーを検討してみてもいいですか？満足度も高く、便利ですよ！

駐車場、もちろん車が入るサイズで設計しましたが前面道路が狭く、内輪差も考慮しなかったため毎度駐車に時間がかかってしまう・・・

シミュレーション不足・・・

図面上では駐車可能でも運転技術によっては駐車が困難な場合があります。やはり、建築工事開始前から現場でシミュレーションして確認しましょう。

収納を多くつけたので片付けには困らないが大切なタンスを置くスペースがない

シミュレーション不足・・・

最近は造り付けの収納が主流ですね。収納家具を購入する必要がなく、見た目もスッキリするので人気です。大切な家具などをお持ちの方は初めのうちから設計図に書き込むなどして専用のスペースを確保しましょう。その家具にピッタリと合わせて設計してもらえるのも注文住宅だからこそ！

洗面室、家事の効率を考えて廊下とキッチンの両方から出入り出来るようにしたが洗面台と洗濯機、お風呂への出入りを考えたら収納など何も置けなかった

キッチンだけでなく洗面室にも吊り戸棚を検討してみてもいいでしょうか？気に入った吊り戸棚がなければ、せつかくですから工務店さんにオリジナルの物を頼んでみてはいかがでしょうか？そんな柔軟性も工務店のいいところです。

家族のコミュニケーションが増えるようにリビング階段にしたが冬になると冷たい空気が降りてきて寒い、子供が友達を連れてくるとリビングを通るので気が抜けない

こちら高気密・高断熱の住宅であれば1階と2階の温度差が少ないので楽しめる設計と言えるでしょう。ただ、リビングに家族以外の出入りが増えるのは覚悟しないといけませんね。

高気密・高断熱住宅で解決！

隣の家と同じ位置に窓が・・・

シミュレーション不足・・・

家づくりの際、外観・内装・外構はパースを作成してシミュレーションをしますが、お隣の家や周辺環境は反映されていません。最終的に設計をきめる際、現場でシミュレーションしてみましょう！建築が始まると現場を見に行く方が多いですが、打合せ期間中から現場へ足を運んでおきましょう！隣の家と外壁の色が似てしまったなどの失敗談もありますよ！

コンセントの位置がよくなかった

シミュレーション不足・・・

家具の位置やベットの位置を図面に書き込んで見ましょう！忘れがち掃除機の動線も忘れずに確認しましょう。掃除中、何度もコンセントを差し替えなくてはイケない。なんてことも・・・

天窓が明るくて良いかと思ったが、夏は暑くてしょうがない

キッチンや書斎など、ある程度同じところに居続ける場所ですと照らされ続けてしまい、うっとうしくなってしまうかもしれませんね。でも、隣の家と接近している家にはプライバシーと開放感の両方を得られる有効的な手段です。北向きや東向きにすれば直接陽が当たる時間は短いですが、外の明るさを取り入れることはできます。

結露を気にして北側の窓を小さくしたが廊下などが暗い

高気密・高断熱の住宅であれば結露は殆ど気になりません。いくら照明を付けても窓がなければ暗く・閉鎖的な印象になってしまい、風も通りません。光や風など自然の恵みを活かせる家づくりを心がけましょう！

高気密・高断熱住宅で解決！

ナチュラルな家に憧れて家中を珪藻土の壁にしたが汚れが目立つ、水回りだけでもビニールクロスにすれば良かった

珪藻土は機能性も高く、色を入れることでデザインも楽しめる事もでき、シックハウスの心配もなく、漆喰よりも安価なので人気があります。ただ、掃除がしにくい他にもポロポロと粉が落ちるなど劣化しやすいので、ペットやお子様のいるご家庭では、書斎や夫婦の寝室などプライベート空間で楽しむのが良いかもしれませんね。また、接着剤などを混ぜ込んでいるため原料比率が極端に低い物も売られていますので注意しましょう。

覚えておこう！

展示場やショールーム見学で満足せずに**現場見学会へ行きましょう！**実際に**建つ家のお手本は一般住宅に有!!**完成見学会・構造見学会の両方大切です。いざ、ご自身の建築が始まった時、「初めて見たからよくわからない」では、不安になってしまいます。見学会が開催されていない時期でも工務店に直接相談してみましょう。建築中の現場を見せてくれたり、OBの方に見学交渉してくれる工務店もありますよ！

土地が決まったら何度も現地へ足を運びましょう。**現地でのシミュレーション**が大切です！近隣の住宅など確認など、周辺も歩いて散策しましょう！

打合せ初期の段階から**書き込み用図面を用意**しましょう。必ず置く家具や家電は自分で書き込みをしよう！

オシャレな設計も住宅の性能次第では欠点になりがち・・・自分の**建築しようとする工法の特徴をしっかりと把握**しましょう。木造か、鉄骨かだけでは何もわかりません。

